

# 柏陵

## 「創立八十五周年を迎えるに当たり」

同窓会長 戸谷 全克  
(旧中二十三回・高一回卒)



会員の皆様には益々ご清祥にてご活躍の事と存じ、心よりお慶び申し上げます。母校も来年は八十五周年を迎え、同窓会員数も三万二千名を越え、県下トップクラスを誇る組織に成長致しております。

私は今回の慶事を迎えるに当たり、「個人情報保護法」など逆風の吹く中ではありますが、こういう時こそ伝統校の誇りを持って立派な名簿を作ろうと意を決して発刊に踏み切った次第でございます。

その為に内閣総理大臣賞、

日展特別賞など数々の賞を受賞なさり、「写実風景画家」としては日本の第一人者でございます。黒澤信男画伯に、母校創設以来のシンボルでございました「柏塔」を選んで戴き、表紙絵とした次第でございます。更に他校はもとより、母校でも最初で最後ではないかと思いますが、題字も黒澤画伯に健筆を奮って戴けました。本当に有難い事と思っております。

これも学制改革の結果、母校で六年間共に学んだ友情の現れと思ひ感謝の念で一杯でございます。差し出がましい事ではございますが、皆様方も母校で育んだ友情を大事になさいますようお願い申し上げます。また来年迎えます創立八十五周年記念事業と致しましては、過去二回そうでありましたように会員の中心

発行  
県立本庄高校同窓会  
会長 戸谷全克  
事務所 本庄市中央1-7-21  
戸谷 八内  
TEL0495(22)2008  
印刷 (有)本庄孔版社

から講師をお願いして講演会を催したいと思っております。その節は大勢のご参加をご期待申し上げます。在校生達も勉強に運動にチャレンジ精神で懸命に頑張っていると聞いております。私達会員も天下に誇り得る学校作りを手を差し伸べようではありませんか。結びに皆様のご健勝ご多幸



平成18年6月27日 黒澤信男画伯より

を心よりご祈念申し上げ、素晴らしい八十五周年を迎えたいと願っております。

創立八十五周年記念事業の予定案内

### 【その一】

- 記念講演の開催
- ①時期 平成十九年秋
- ②場所 母校体育館
- ③講師 会員

### 【その二】

- 東京支部の設立準備
- ①発起人会の発足 平成十九年春
- ②設立準備会の開催 平成十九年夏
- ③設立総会の開催 平成十九年秋

## 平成18年度 本部・支部役員

会長	戸谷 全克	高1	末広町	野枝	直治	高5
副会長	立川 大作	中9	諏訪町	谷山	卓司	高13
副会長	内野ヨシエ	女16	朝日町	山田	功次	高19
副会長	竹並栄一郎	併中2	藤田	内野昭八郎		高4
副会長	塚越 壽衛	高2	仁手	福島	好正	高3
副会長	茂木 延雄	高3	旭	亀田	本二	高4
副会長	田辺 明義	高5	北泉	野口	茂	中20
副会長	松本 泰昌	高8	今井	荒井	正純	高15
副会長	筑紫善一朗	高17	児玉	吉田	英一	高22
副会長	飯島 由和	高19	美里	野口	重信	高23
副会長教頭	佐藤 弘		神川	金井	久直	中22
副会長教頭	久保 誠		神泉	秋山	欣彦	高28
副会長教頭	後藤 修文		上里神保原	森村	信行	高14
副会長	清水 正一	高6	上里賀美	小野	英彦	高14
会計	桜井 弘子	高10	上里七本木	斎藤	勝次	高14
会計	新井 弘子	高15	上里長幡	小柳	喜政	高10
監事	江原 清吉	高4	岡部	田嶋	義介	高5
監事	白本 直子	高12	寄居	松本	恭二	高2
顧問(校長)	植野 明美		深谷(代行)	福島憲之		高4
支部長			熊谷	栗原	健昇	高13
宮本町	荒井 稀索	高3	県庁県南	大澤	文徳	高20
泉町	竹並栄一郎	併中2	伊勢崎	吉澤	唯志	高11
上町	境野 登	高2	新町	高嶋	重皓	高6
照若町	岩本 英人	中20	東京	黒澤	信男	高1
七軒町	町田 一徳	高5	本庄市役所	飯島	由和	高19
仲町	飯塚 能成	高25	エーザイ	栗田	文作	定22
本町	矢代 和正	高6	児玉郡市教職員			
南本町	村田敬次郎	中22	(本庄南中学校)			
台町	松本 敬一	定1	田中 幹雄			高19

柏陵消息

チャレンジする本庄高校

校長 植野明美



平成十八年三月の入試結果(現浪)は、国公立大学へ十名、私立大学へ二三名の合格でした。現役の進路決定率は、昨年を上回って八五%となりました。さらに、生徒が高い目標に向かってチャレンジできるよう、学校一丸となって取り組みたいと思います。以下、今年度の学校のチャレンジや生徒の活動の様子です。

できることになりました。

又、授業改善に向けた新たな取組として、「生徒による授業評価」を実施しました。生徒の声を聞き、授業改善に活かし、生徒・先生方が一丸となって学校の授業の質を一層高めていこうとするものであり、画期的な取組と思います。

部活動では、水泳部が男女とも関東大会に出場、女子五〇メートルではインターハイ大阪大会に出場し大活躍をしました。また、ワンダーフォーゲル部も、十月に草津白根山での関東大会に出場が決定しております。同窓会からお祝いをいただきました。厚く御礼申し上げます。

十一月八、九、十日に授業公開を致します。同窓会の皆様に、多数お出でいただき、ご意見やご指導いただければ幸いです。

会員の皆様のますますのご健勝を祈念致します。

母校近況

部活状況

運動部

弓道部

県北大大会女子個人2位、県下武道大会弓道の部女子個人2位・団体3位

剣道部

春季県北大大会女子個人ベスト16、インターハイ予選県大会男子個人ベスト32 部員男子8名・女子6名

硬式テニス部(男子)

学総埼玉県大会出場、県北学年別ダブルス大会優勝

硬式テニス部(女子)

学総埼玉北部地区大会シングルス3回戦・ダブルス3回戦

水泳部

関東大会出場(女子自由形50m・100m、バタフライ100m・200m、男子自由形200m・400m)インターハイ出場(女子自由形50m)

野球部

全国高等学校野球選手権大会2回戦 部員47名で全員野球をモットーに練習に励んでいます。

体操部

学校総合体育大会県予選男子団体15位・女子団体8位

卓球部

部員男子9名・女子8名 関東大会県大会予選に男女団体出場・女子1名シングルス出場

男子バレー部

関東大会予選県大会出場、インターハイ予選県大会出場

女子バレー部

春の高校バレー全国大会出場を目指して猛練習中

男子バスケットボール部

出場2回戦進出 県北大大会3位・関東大会地区予選2回戦

ワンダーフォーゲル部

4月新入生歓迎山行(天狗山) 5月学総体参加(武甲山) 6月夏山トレニンクス山行(両神山) 7月夏山合宿(尾瀬) 10月関東大会出場(草津白根山)

文化部

写真部

6月高写真研主催県写真展に出品・9月文化祭・11月

高文連主催県写真展に出品予定 デジタル写真を研究中

新聞部

本庄高校新聞年6回発行予定 学校行事を中心に生徒の声を掲載

放送部

昼休みの校内放送を毎日工夫しています。学校行事の音響を担当しています。

演劇部

秋季演劇祭に参加します。学校行事の照明を担当しています。

美術部

2月全日本学生美術展佳作1名、6月書道美術合同展開催

書道部

6月本庄市民文化会館にて書道美術部合同展開催・2月本庄市役所ロビーにて校外展開催予定・11月高校書道展開催予定・夏季休業中校外合宿、男子も入部し、柏樹祭に向けて活気ある作品づくりを展開中

吹奏楽部

6月第45回定期演奏会開催、北部地区吹奏楽研究発表会参加、7月全国高等学校

校野球選手権大会応援、8月吹奏楽コンクール参加

英語部

ALTと英語による言語活動(自己紹介、音楽・アメリカの歴史) 部員15名

社会科研究部

夏季休業中にハンセン病の学習のため草津町の粟生楽泉園に行く予定。秩父事件の現地学習も計画している。部員5名

物理部

1年生が埼玉大学で実験・実習を行うサイエンス・パートナーシップ・プロジェクト(SPS)に参加。文化祭の展示・発表と科学展に向けて活動中

生物部

ニンジン(根)の組織培養を継続。野草の調査・観察及びサンショウウオの飼育に挑戦中

地学部

5月新入生歓迎化石採集(皆野)、8月夏合宿・天体観測と化石採集(長野県)

茶道部

1年生18名、2年生24名、3年生2名で毎週水曜日に活動している。多数の入部により活気を取り戻した。年数回の茶会で日頃の練習成果を披露している。

表1 平成17年度卒業生進路状況表

	平成13年度卒業生	平成17年度卒業生
国公立4年制大学	7 (5)	9 (6)
私立4年制大学	184 (144)	166 (129)
国公立短期大学	2 (2)	0
私立短期大学	28 (28)	25 (24)
専修・専門学校	97 (92)	106 (106)
公務員・就職	3 (3)	8 (8)
現役総計人数	360	323
4大現役進学率%	41.4	39.9
浪人率%	23.9	15.5

\*平成16年度から1クラス減  
 \*( ) は現役

進路決定に際して生徒から、自宅から通えることが条件、とか、浪人はできない、という科白をよく耳にします。生徒も自分の家庭の経済状況を心配し、余計な経済的負担はさせられないという思いを強く持っているようです。また、ここ数年、四大進学率が上昇せず、高度な専門技術を持った職業



進路指導主事 宮嶋 敏

平成十七年度進路概況及び今年度の指導概要について

一、進路概況とその背景  
 平成十七年度卒業生は、新学習指導要領の第一期生であり、新しく導入された「総合的な学習の時間」を進路指導の充実のために充て、一年次より大学見学を取り入れるなど、様々な取り組みを行ってきました。進路結果が目立った進学率を示しました。旧学習指導要領下の四年前の卒

業生と比較・分析すると次のような傾向が見られます。  
 (1) 国公立や難関私大への合格者は微増傾向  
 (2) 現役四大進学率はほぼ横ばい  
 (3) 浪人率が一貫して減少

二、今年度の指導概要  
 本年度の本庄高校としての進路指導の現状や課題、取り組むべき方策を表2に示しました。  
 ここ数年の間に、サテライン大学進学補習講座や総合的な学習の時間の導入など、制度面・ハード面での充実が図られ、一定の成果が上がったと思われま

人を育成する専門学校に人氣が高まっているのは、費用対効果、つまり上級学校(大学・短大・専門学校)でかかる学費とその後就職先という観点から考えた場合に、厳しい経済状況が即戦力としての実学思考を強める働きに作用しているからだと考えられます。

三、おわりに  
 いずれにしろ、生徒は現実を見据えながら、賢く進路を選択しています。ただ、残念なのは、進路準備への取り組みが遅く、希望を実現するには時間が足りないという傾向が多く見られます。生徒にとって本庄高校は、仲間と活動する機会が多い、楽しく活気のある学校ですが、それを糧としながら、自分の目標に向かって、一人ひとりで努力し続ける姿勢を持って欲しいと願っています。

表2 平成18年度学校自己評価シート(抜粋)

評価項目	現状	具体的な方策
進路指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>四大現役進学率約40%</li> <li>入学時の進路希望と実績の開き</li> <li>サテライン、模擬試験等の参加率低下</li> <li>生徒の進路情報が不十分</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>当初の目標を簡単に諦めないためのオリエンテーション、相談等の充実</li> <li>生徒の現状に即したサテラインや模試の設定</li> <li>教員による補習</li> </ul>

終身会費納入者芳名

平成十七年度

- 〔高21〕南 相吉、本田きみ子、永井妙子、小谷野 明、蘭田京子
- 〔高22〕清水喜美子、海北明和、関根真敏、中島菊枝、石川 幸一、吉田文江
- 〔高23〕柴崎 健、山田修一、浅見房江、丸山規久
- 〔高24〕丸山 修、関根 寛、浅見勝彦、丸山規久
- 〔高25〕吉田光夫、原田敏枝、龍前篤司、岸 世一
- 〔高26〕茂木徳男、塚田幸男、木村 敬
- 〔高28〕長尾明子、塚田幸男
- 〔高29〕長谷川浩一
- 〔高30〕中山勝久、高野庸夫、神部 透
- 〔高44〕小川真一郎
- 〔高52〕大林良子、武正拓也、丸山由紀子、高垣幸祐
- 〔高53〕早乙女雄一
- 〔高55〕松崎雄一朗、佐竹真那美
- 〔高56〕岡田 理、太田幸佑、石川恵輝、三輪朱里、栗原麻梨子、桑原香織、浅見紗希、鎌塚健太郎、松本英和
- 〔高57〕尾根田倫太郎、米山崇志、辻村洋志、田尻和人、川田直紀、荻原梨恵、金子友維、長田 香、杉山智恵子、金井隆洋、石井綾乃、森田亜由美、福地麻澄、町田智章、酒井悠貴、古賀映莉子、田中瑞穂、浅見有香、樋口晃史、斉藤康二、山田知香、萩原克博

- 平成十八年度 年会費納入者芳名
- 〔高57〕神沼侑季
  - 〔高58〕生塩 愛、小澤みなみ、菊 慧子、高橋佳代子、飯塚晴子、高橋恭兵、斉藤美幸、橋本裕明
  - 〔定20〕田幡静子、栗原一雄
  - 〔定56〕田島正彦

- 〔高58〕竹澤彩乃、高田悟志、岡村麻理恵、山本真子、内海麗奈、矢島裕也、引間啓太、島田結華、町田直偉、門倉正実、齋藤達也、中野雄太、萩原晴香、野曾原溪、関口夏季、永尾知子、齊藤尚香、豊泉雅登、鈴木果央里、根岸絵美理、吉田俊介、桜井弘樹、風間夏樹、山口由喜、小野寺壘、中嶋祥子、峰岸知子、野崎裕介、宮下真衣、小西理文、神 智江、有本嘉宏、日向理恵、塚越悠紀、岩松有紗、坂本裕紀実、中島悠太、久保宗一郎、箱田優美、清水佳暁、持田秀樹、杉本美生、田中三貴、八須忠洋、大谷直人、佐藤 晃、笠原朋未、真砂隆広、大江田麻衣、小林 寛、小柴貴子
- 〔高57〕藤田倫太郎、米山崇志、辻村洋志、田尻和人、川田直紀、荻原梨恵、金子友維、長田 香、杉山智恵子、金井隆洋、石井綾乃、森田亜由美、福地麻澄、町田智章、酒井悠貴、古賀映莉子、田中瑞穂、浅見有香、樋口晃史、斉藤康二、山田知香、萩原克博
- 〔高57〕藤田倫太郎、米山崇志、辻村洋志、田尻和人、川田直紀、荻原梨恵、金子友維、長田 香、杉山智恵子、金井隆洋、石井綾乃、森田亜由美、福地麻澄、町田智章、酒井悠貴、古賀映莉子、田中瑞穂、浅見有香、樋口晃史、斉藤康二、山田知香、萩原克博
- 〔高57〕藤田倫太郎、米山崇志、辻村洋志、田尻和人、川田直紀、荻原梨恵、金子友維、長田 香、杉山智恵子、金井隆洋、石井綾乃、森田亜由美、福地麻澄、町田智章、酒井悠貴、古賀映莉子、田中瑞穂、浅見有香、樋口晃史、斉藤康二、山田知香、萩原克博

良き時代に  
学んだ私達

佐々木範子  
(高16回生)

(前文化庁長官夫人)



私は本庄高校第十六回生、昭和三十六年入学です。家から学校までは自転車です。二十五〜三十分の距離でした。朝、友人達と数人で各々の家に寄り合いながら一緒に通学したことを覚えています。当時、道路は舗装されていない所も多く、雨の日や冷たい北風の日などはとても大変でしたが、そんな中でも友人達との通学の時は、情報交換の絶好の機会でした。今程車の往来が多くなかったから出来たことでもありました。

学校は実に楽しく、小規模の中学校から本庄高校へ入学した私にとって、まず生徒数の多いことに驚き、授業に対してはとても新鮮なものを感じました。特に個人的には、「世界史」に大変興味を覚えました。ですからテストとなるとかなり頑張りました。当時本庄高校は三年生に

なると第一校舎で学びました。あの伝統的な美しい校舎は私の憧れの学舎でした。休み時間や放課後には、階段の踊り場や前庭のあちこちで語らいの輪が出来、夢と現実の入り混じった高校生らしい話に夢中になったものでした。現在でも私は世界の歴史の中で大きな役割を果たした人物などに関心を持っており、一主婦として、また一地球人として国際ボランティアに二十年近く携わっております。私個人が大きく力を広げて社会に目立った役割を果たすことはとてもむずかしいことですが、

が、ささやかな一人一人の小さな役割の心構えこそが大切と信じてやっています。価値観が多様化している現在に学ぶ在校生の皆様には、是非とも大きな目標を設定し、その目標に向かって大きく邁進し、努力する喜びを手に入れてもらいたいと思います。

平成十八年度  
事業計画

- 平成18年 4月 定例役員会  
5月 母校入学式に出席  
6月 定例役員会  
定例役員会  
会計監査  
通常総会開催

- 平成19年 7月 定例役員会  
8月 支部活動の応援  
9月 同窓会報第36号の発行  
10月 定例役員会  
11月 母校柏樹祭見学  
12月 PTA役員との懇談会  
平成18年 1月 定例役員会  
2月 育英資金支給  
支部助成金の贈呈  
支部長会議開催  
新年会の開催

平成17年度収支決算書

自平成17年4月1日 至 平成18年3月31日

Table with 4 columns: 科目, 決算額, 予算額, 比較増減. Rows include 入会金, 終身会費, 年会費, 寄付金, 雑収入, 合計.

Table with 4 columns: 科目, 決算額, 予算額, 比較増減. Rows include 総会費, 組織編成費, 記念品費, 母校助成金, 会議費, 通信費, 交際費, 事務雑費, 育英資金支給, 予備費, 合計.

※平成18年3月31日 財産目録 ¥25,098,942

上記監査 監事 江原清吉・竹内恵美子・白本直子  
平成18年5月26日

※平成18年3月31日現在 終身会費納入者数 5,129名

平成18年度職員異動について

Table of staff changes with columns for 転退職職員, 異動先等, and 異動先. Lists names and positions like 我妻光一郎, 金田康生, etc.

Table of staff changes with columns for 新転任職員, 前任校等, and 異動先. Lists names and positions like 佐藤弘, 久保誠, etc.

3月 定例役員会  
新会員入会式  
新幹事委嘱式  
新会員全員へ会費  
納付書の配布  
母校卒業式に出席

寄付者芳名  
平成十七年度

戸谷会長  
内野副会長  
萩原洋造招待恩師  
大久保美津枝  
日東工芸

① 支部長会・新年会  
十一月八日(水)  
於 本庄高校

② 支部長会・新年会  
二月二十四日(土)  
午後三時より  
於 五州園

③ 通常総会  
六月二十三日(土)  
午後三時より  
於 埼玉グランド  
ホテル本庄

支部長会・新年会  
総会案内